

認知症とは

認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまうことなど、脳の司令塔の働きに不都合が生じ、さまざまな障がいが起こり、生活する上での支障が、およそ6か月以上継続している状態を指します。加齢とともに認知症の発症リスクは高まり、認知症は誰でもなる可能性があります（認知症サポーター養成講座標準教材より抜粋）

認知症も生活習慣病と同じように早期発見・早期対応が大切です。下記の認知症チェックリストをまずは行ってみましょう。また、認知症かもしれないと感じたら、早めに相談しましょう。

〔認知症チェックリスト〕

～3つ以上当てはまった方は、地域包括支援センターなどへまずは相談を～

（この認知症チェック項目は、あくまでも目安です。認知症の診断をするものではありません）

1. 同じことを言ったり聞いたりする
2. 物の名前が出てこなくなった
3. 置き忘れやしまい忘れが目立ってきた
4. 以前はあった関心や興味が失われた
5. だらしなくなった
6. 日課をしなくなった
7. 時間や場所の感覚が不確かになった
8. 慣れたところで道に迷った
9. 財布などを盗まれたという
10. ささいなことで怒りっぽくなった
11. 蛇口・ガス栓の締め忘れ・火の用心ができなくなった
12. 複雑なテレビドラマが理解できない
13. 夜中に急に起きだして騒いだ

（愛知県、国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター「認知症チェックリスト～早期発見・早期対応に向けて自分・家族で気づくヒント集」より抜粋）

〔認知症に関する相談〕

認知症についての相談は、地域包括支援センターにご相談ください。地域包括支援センターは、高齢者の総合相談窓口です。お気軽にご相談ください。

高浜市地域包括支援センター

電話番号 0566-52-9610（春日町五丁目 165 番地 高浜市いきいき広場 2 階）

〔若年性認知症〕

認知症は、一般的には高齢者に多い病気ですが、65歳未満で発症した場合、「若年性認知症」と言います。認知機能低下の症状が現れても、認知症のせいと思い至らなかつたり誤診などのため、発症から診断がつくまでに時間がかかる場合が多いと言われていています（社会福祉法人 仁至会 認知症介護研究・研修大府センター「若年性認知症支援ガイドブック 改訂版」より引用）。

「若年性認知症」のご相談は、地域包括支援センター、又は愛知県若年性認知症総合支援センター（電話番号：0562-45-6207）へお気軽にご相談ください。

問合せ先 高浜市役所 福祉まるごと相談グループ
電話番号：0566-52-9610
E-mail：fukushi-marugoto-city.takahama.lg.jp